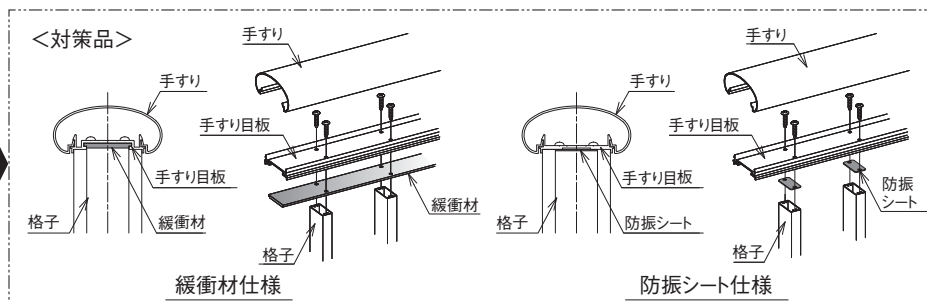
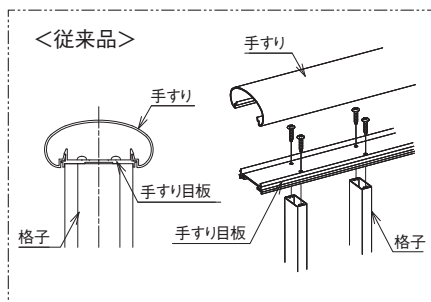


風騒音抑制手すり

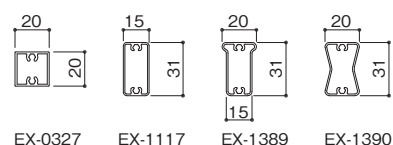
音鳴り防止に特化した形状の格子と
緩衝材の組み合わせで風騒音を抑制。

風騒音抑制手すり仕様

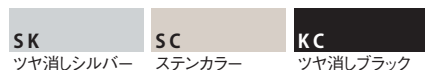
1 緩衝材・防振シート仕様



2 格子バリエーション



3 カラーバリエーション



風騒音の種類



＜振動音＞

風で格子が振動し、
発生するビバリ音・ブーン音

＜流体音＞

風が手すりを吹き抜けて
発生する笛吹音・ピー音

風騒音抑制効果

注意 風騒音抑制効果は格子形状、格子ピッチ、仕様などによりばらつきがあります。下記は一例となります。

詳細はもよりの営業所までお問い合わせください。

従来品と対策品の風洞試験結果を比較することにより、対策品の風騒音抑制効果を確認。

<評価方法>

従来品と対策品の試験結果を比較

- ①聴感上、確認された騒音の発生条件の範囲(風向・風速)
- ②騒音の周波数帯域ごとの大きさ(1/3オクターブバンド解析)



試験状況

①聴感上、確認された騒音の発生条件の範囲(風向・風速)

【従来品】格子P=60

風速 (m/s)	風向(0°は試験体に対し直角)																	
	0°	5°	10°	15°	20°	25°	30°	35°	65°	70°	75°	80°	85°	90°				
5	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
7.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

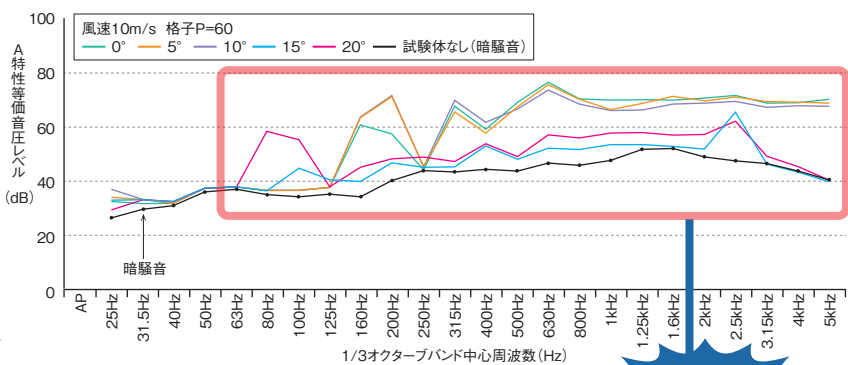
騒音発生
範囲が縮小

【対策品】格子P=60

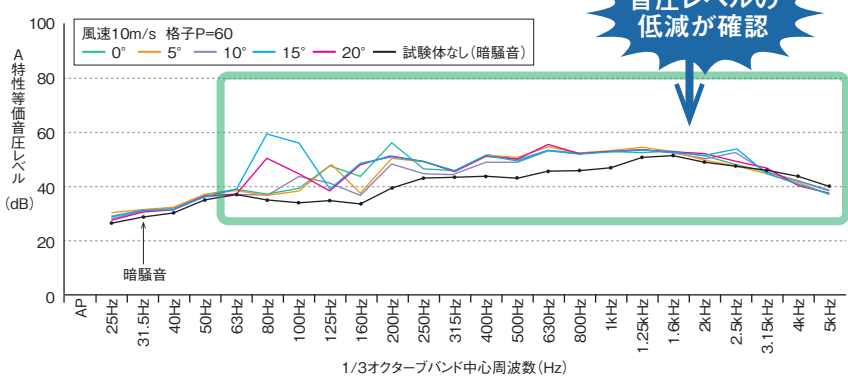
風速 (m/s)	風向(0°は試験体に対し直角)																	
	0°	5°	10°	15°	20°	25°	30°	35°	65°	70°	75°	80°	85°	90°				
5	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
7.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

判定記号について
 ○: はっきり聞こえる S: 振動音(ビビ音・ブーン音)
 △: 聞こえる音が小さい F: 流体音(笛吹音・ピー音)
 —: 聞こえない SF: 振動音・流体音の両方
 上段空欄: 未実施

【従来品】



【対策品】



音圧レベルの
低減が確認

参考資料

※詳細は気象庁のHPをご覧ください。

■風の強さと吹き方(抜粋) 国土交通省 気象庁

風の強さ(予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	人への影響	屋外・樹木の様子	建造物	およその 瞬間風速(m/s)
やや強い風	10以上 15未満	~50km	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	~70km	風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始める。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に 強い風	20以上 25未満	~90km	何かにつかまっていけないと 立っていられない。 飛来物によって負傷する おそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の 張っていない木が倒れ始める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。 固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に 破れる。	30 40

注1) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合などは3倍以上になることがあります。
 注2) 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
 注3) 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
 注4) 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。



ビニフレーム工業株式会社

本社・工場 富山県魚津市北鬼江616番地

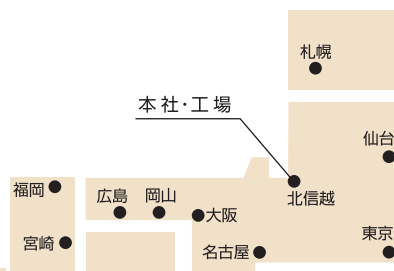
<https://www.vinyframe.co.jp/>



ビニフレーム工業株式会社(本社・工場)は
ISO14001認証を取得しています。



●このカタログは、環境に配慮した資材と工場製造されています。



本社 TEL 0765-24-1032 FAX 0765-24-1051
 札幌 TEL 011-624-5080 FAX 011-633-7088
 仙台 TEL 022-288-2141 FAX 022-288-5070
 東京 TEL 03-5204-0820 FAX 03-5204-0824
 北信越 TEL 0765-55-1208 FAX 0765-55-1206
 名古屋 TEL 052-703-8850 FAX 052-703-8234
 大阪 TEL 072-645-2626 FAX 072-645-2627
 岡山 TEL 086-244-5544 FAX 086-244-5344
 広島 TEL 082-291-8251 FAX 082-291-8260
 福岡 TEL 092-541-7771 FAX 092-541-7701
 宮崎 TEL 0986-46-5180 FAX 0986-46-5100

インドネシア PT.ALVINY INDONESIA
 TEL 001-010-62-21-897-1177